

報告事項1（意見聴取）

平成29年度大阪府立高等学校入学者選抜における英語の学力検査問題について

グローバル化の進展に伴い、さまざまな分野で英語力が求められるなか、大阪府では、グローバル人材の育成に向けて英語教育の充実に取り組んでいる。

その一環として、平成29年度入学者選抜から英語資格（外部検定）を活用することとしているが、これに加えて、「読む・書く・聞く・話す」の4技能及び論理的思考力の育成につながるよう、英語の学力検査問題のうち、発展を中心とした問題（現行制度では、「標準と発展を中心とした問題」及び「B選択問題」）については、下記の方角で検討する。

- 各問のリード文も含め、すべて英文とする。（注釈のための日本語を除く。）
- 読ませる英文の語数を、これまでより多くする。
- これまで共通であった英語リスニング問題について、別問題を作成し、リスニング問題（リスニングをベースにした記述問題を含む。）の配点の割合を増やす。

平成26年5月16日

【参考】

○大阪府立高等学校入学者選抜における英語資格（外部検定）の活用について

大阪府立高等学校入学者選抜学力検査の教科「英語」において、**TOEFLiBT**などの外部機関が認証した英語力判定のスコア等を一定の得点率（下記※換算表参照）に基づき換算し、換算した得点と当日受験する学力検査の英語の得点とを比較し、高い方の得点をもとに最終的な学力検査の得点とする。

※換算表

	TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え率
大阪府立高校入学者 選抜 教科「英語」	60点	6	準1級	100%
	50点	5.5	(対応無し)	90%
	40点	5	2級	80%

《換算に用いるテストは、英語4技能を試す内容が含まれていること、普及状況、および問題の質等を総合的に考慮して選ばれたテストである。具体的には、**TOEFLiBT**(主に米国の大学で使用)、**IELTS**(主に英国の大学で使用)、**実用英語技能検定試験（英検）**である》
(平成25年9月20日 教育委員会会議において決定)

○平成26年度入学者選抜の英語の学力検査問題の種類

前期入学者選抜

種類	出題内容	
1	基礎と標準を中心とした問題	リスニング（共通）
2	標準と発展を中心とした問題	

後期入学者選抜（定時制の課程及び多部制単位制Ⅲ部を除く。）

種類	出題内容	
A選択	文法・語彙などに関する設問や英文を読解する力をみる設問を中心に出題	リスニング（共通）
B選択	まとまった内容の英文を話の流れに沿って読み取る力や自分の考えを英語で表現する力をみる設問を中心に出題	